

付録-5 詳細点検報告書作成要領

点検表（施設諸元）

・本市DBより、引用すること。

種別	道路標識	管理者	大阪市建設局 中浜工営所	管理番号	89-3-28-108-001
■ 位置情報				整理番号	

道路種別	一般国道（指定区間外）	路線名	国道479号（内環状線）	上・下別	下り
所在地	大阪市 旭区 新森6-2			距離標（km）	
緯度	34° 42' 59.5"	経度	135° 33' 38.1"	備考	

■ 構造情報							
支柱形式	片持式（F型）	表面処理形式	塗装式+亜鉛めっき式	基礎形式	ベースプレート型		
支柱基部 リブ形状	三角リブ	路面境界部の 状況	コンクリート	灯具種類	-		
標識設置枚数 及び標識番号	1 108の2-A	標識板の 取付形式	固定式	標識板の落下 防止対策	今回実施（全部）	落下防止ワイヤー設置	
ゆるみ止め 対策の有無	無	合いマーク	今回実施（全部）	制震装置 の有無	無		
柱基部排水性 向上対策	有 柱基部に排水勾配を設置済	設置年月	1990年3月		備考	占用物件なし	

■ 設置環境情報							
設置環境	一般部	海岸からの 距離	5km~20km 未満	融雪剤 散布区間	該当しない	風規制 実施区間	該当しない
防雪対策 実施区間	該当しない	センサス 年度	H22	センサス 区間番号	27304790140	交通量	30563 台 / 24h
車道幅員 （m）	17.5	歩道幅員 （m）	4.0	緊急輸送道路 指定の有無	二次	通学路指定 の有無	-

■ 点検情報									
点検種別	定期点検（詳細）	点検方法	近接目視	点検年月日	2016年 11月 23日	前回 点検年月日	2013年 10月 18日		
点検員 （所属・氏名）	株式会社 ●●●●		●● ●●	備考					

更新履歴	無	前回設置年月				
------	---	--------	--	--	--	--

・位置図、全景・地際部写真を貼付



位置図



全景



地際部

注 1：緯度・経度については、世界測地系で0.1"単位まで記入する。
 注 2：距離標、センサス（年度、区間、交通量）については、ある場合に記入する。

点検表（点検結果票）

点検年月日：2016年11月23日

種別	道路標識	管理者	大阪市建設局 中浜丁堂所	管理番号	89-3-28-108-001
----	------	-----	-----------------	------	-----------------

■点検結果

・点検時に措置を施した場合は、措置後の判定も記入する。

・各部位、部材毎の判定を記入

部材等	点検箇所	記号	対象有無	点検状況	損傷程度の評価 変状の種類														対策の要否	部材の健全性の診断						
					亀裂		ゆるみ脱落		破断		腐食		変形・欠損		ひび割れ		浮き・剥離				滞水		その他			
					点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後				
支柱	支柱本体	支柱本体	Pph	有	済	a					a	a											-	否	I	
		支柱継手部	Ppj	無																						
		支柱分岐部	Ppd	無																						
		支柱内部	Ppi	有	済							a									a					-
	支柱基部	リブ・取付溶接部	Pbr	無																						
		柱・ベースプレート溶接部	Pbp	無																						
		ベースプレート取付部	Pbb	無																						
		路面境界部 (GL-0)	Pgl-0	有	済	a						a	a													-
		路面境界部 (GL-40)	Pgl-40	無																						
	その他	電気設備用開口部	Phh	無																						
開口部ボルト		Phb	無																							
横梁	横梁本体	横梁本体	Cbh	有	済	a					c	a											-	要	II	
		横梁取付部	Cbi	無																						
		横梁トラス本体	Cth	有	済	a						a	a													-
	溶接部・継手部	横梁仕口溶接部	Cbw	有	済	a						a	a													-
		横梁トラス溶接部	Ctw	有	済	a						a	a													-
横梁継手部	Cbj	有	済	a	a	a	a	a	a	a	a												-			
標識板等	標識板	標識板（添架含む）	Srs	有	済	a	a	a	a	a	a												-	否	I	
		標識板取付部		有	済	a	a	a	a	a																-
	道路情報板	道路情報板		無																						
		道路情報板取付部		無																						
	その他（灯具等）	灯具	Sli	無																						
灯具取付部			無																							
基礎	基礎コンクリート部	基礎コンクリート部	Ebc	無																						
	アンカーボルト・ナット	アンカーボルト・ナット	Bab	無																						
ブラケット	ブラケット本体	ブラケット本体	Brh	無																						
	ブラケット取付部	ブラケット取付部	Bri	無																						
その他	その他	バンド部（共架型）	Xbn	無																						
		配線部分	Xwi	無																						
		管理用の足場・作業台	-	無																						
					無																					

施設の健全性の診断

■所見（その他特記事項）

支柱基部において、排水勾配の設置が見られた。
 横梁本体（上下部）に塗装剥離が見られたが防食機能が失われていないため、施設の健全度評価をIとした。（H25点検）前回点検から大きな変化なし。

■点検予定

点検ができなかった部位	無	点検予定時期	
点検ができなかった理由		点検実施方法	

・当該標識の健全度が分かるように、点検状況を記載すること。
 ・部位部材の判定の最悪値と施設全体の判定が異なる判定になっている場合は、必ず、その理由を記載すること。

※ 部材の健全性の診断欄のハッチ（濃いグレー）部は、通常では存在しない点検箇所と変状の種類のみを組み合わせである。
 ※ 点検調査（例）は、各道路管理者の判断により、大型の道路標識及び道路情報提供装置以外についても定期点検を実施する場合を想定し、共通様式として使用できるように作成したものである。

点検表（損傷記録票）

点検年月日：2016年 11月 23日

種別	道路標識	管理者	大阪市建設局 中浜工営所	管理番号	89-3-28-108-001	
					整理番号	

■ 損傷程度の評価および措置（応急含む）

部材名称		横梁本体 ・管理番号には、本市DB記載の建植番号を記載すること ・整理番号には、本市DB記載の各区ごとの通し番号を記載すること 変状の種類									
損傷程度 の評価	部材判定	鋼部材					コンクリート部材		共通		
		亀裂	ゆるみ・脱落	破断	腐食	変形・欠損	ひび割れ	浮き・剥離	滞水	その他	
	点検時評価	a			c	a					-
	措置後評価										
（ ） 措置 含む （ ）	実施内容		・点検表（点検結果票）に記載する部材単位ごとに 本調書を作成すること								
	未 実 施	理由	応急措置範囲外								
		予定時期	概ね5年後								
	予定内容	5年後定期点検（中間点検）が必要									
特記事項		横梁本体（上下部）に塗装剥離（H25点検）前回点検から大きな変化なし。 ・点検時に措置を施した場合は、 下段にも評価「a」（健全）を記入すること。									



横梁本体（上部）



横梁本体（上部）



横梁本体（下部）

・上記で健全（a）以外の判定を下した根拠となる写真を貼付。

※ 点検箇所毎につき、なるべく1枚で作成（変状の種類に対する判定区分が、1つでもⅡ～Ⅳと判定された部材ごとに作成する）

写真台帳

撮影年月日：2016年11月23日

種別	道路標識	管理番号	89-3-28-108-001
		写真番号	1
		撮影部位	全景
		備考	

		写真番号	2
		撮影部位	標識板 表面
		備考	

		写真番号	3
		撮影部位	標識板 裏面
		備考	

・本台帳は、全景～損傷状況までの一連の状況が分かるように貼付すること。

種別	道路標識	管理番号	89-3-28-108-001
		写真番号	4
		撮影部位	管理シート・建植シート
		備考	

・管理シート、建植シートの撮影は全て行うこと。
 ・その他、地際部の掘削等の状況、安全管理など、各ポイントとなる状況の写真は必ず貼付すること。
 ・建植シート貼替え

		備考	
---	--	----	--

		写真番号	6
		撮影部位	地際部
		備考	排水勾配設置済

E判定会議調書

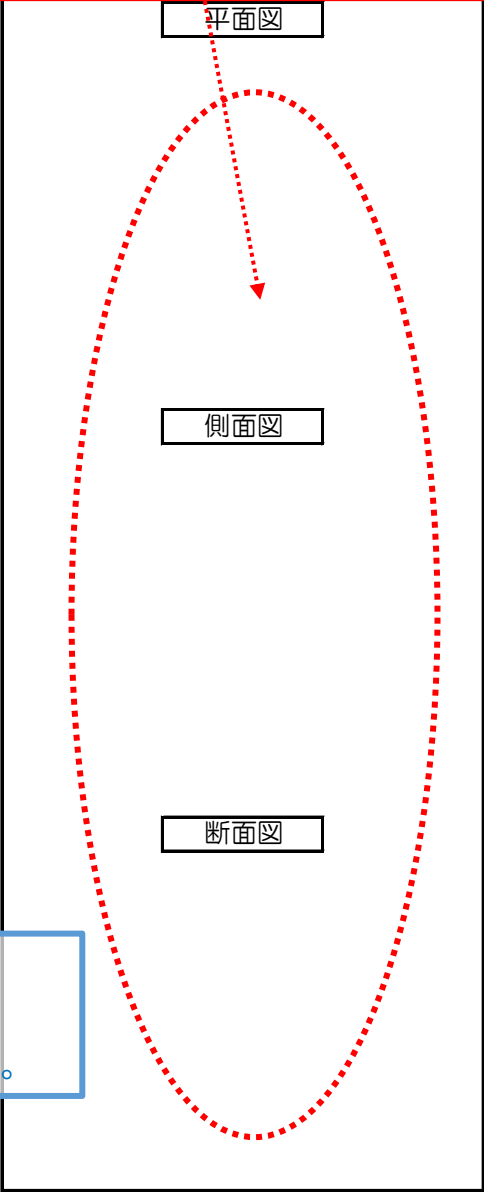
・前回点検時になかった損傷では空白でよい。

・左記写真を補足する図があれば掲載

建植番号	89-3-28-108-001	路線名	国道479号(内環状線)	行政区	旭区	ID	34° 42' 59.5" 135° 33' 38.1"
管理番号		緊急交通路		工営所	中浜工営所	点検年月日	2016年 11月 23日
支柱形式	片持式(F型)	板取付形式	固定式	表面処理形式	塗装式+垂鉛めつき式	建設年	1990年3月

損傷写真	写真番号	撮影年月日	写真番号	撮影年月日
	前回点検結果	部材名	今回点検結果	部材名
		部材番号		部材番号
		損傷の種類		損傷の種類
		損傷度評価		損傷度評価
		× 毛		× 毛
	写真番号	撮影年月日	写真番号	撮影年月日
	前回点検結果	部材名	今回点検結果	部材名
		部材番号		部材番号
		損傷の種類		損傷の種類
	損傷度評価		損傷度評価	
	× 毛		× 毛	

・写真台帳で掲載した時の写真番号をそのまま転記すること。



・本調書は、E判定会議に使用する調書であるので、損傷判定が「e」となる損傷をピックアップすること。
 ・前回点検時にも損傷がある場合は、左右で経年劣化が読み取れるように工夫すること。

【原因と対策工法(案)】

・要因等が分かるものについては、対策工法も含めて記載する

損傷の種類	考えられる原因